いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

岡山県の地震
令和6年(2024年)6月

目　次

○岡山県及びその周辺の地震活動（６月）
　震央分布図及び断面図　… 1
　概　況　… 1
　岡山県において震度１以上を観測した地震の表　… 2
　岡山県において震度１以上を観測した地震の震度分布図　… 3
○地震防災メモ　№222
　津波が来るぞ　すぐ避難！
　―「津波フラッグ」は避難の合図―　… 4

●「岡山県の地震」は、月１回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

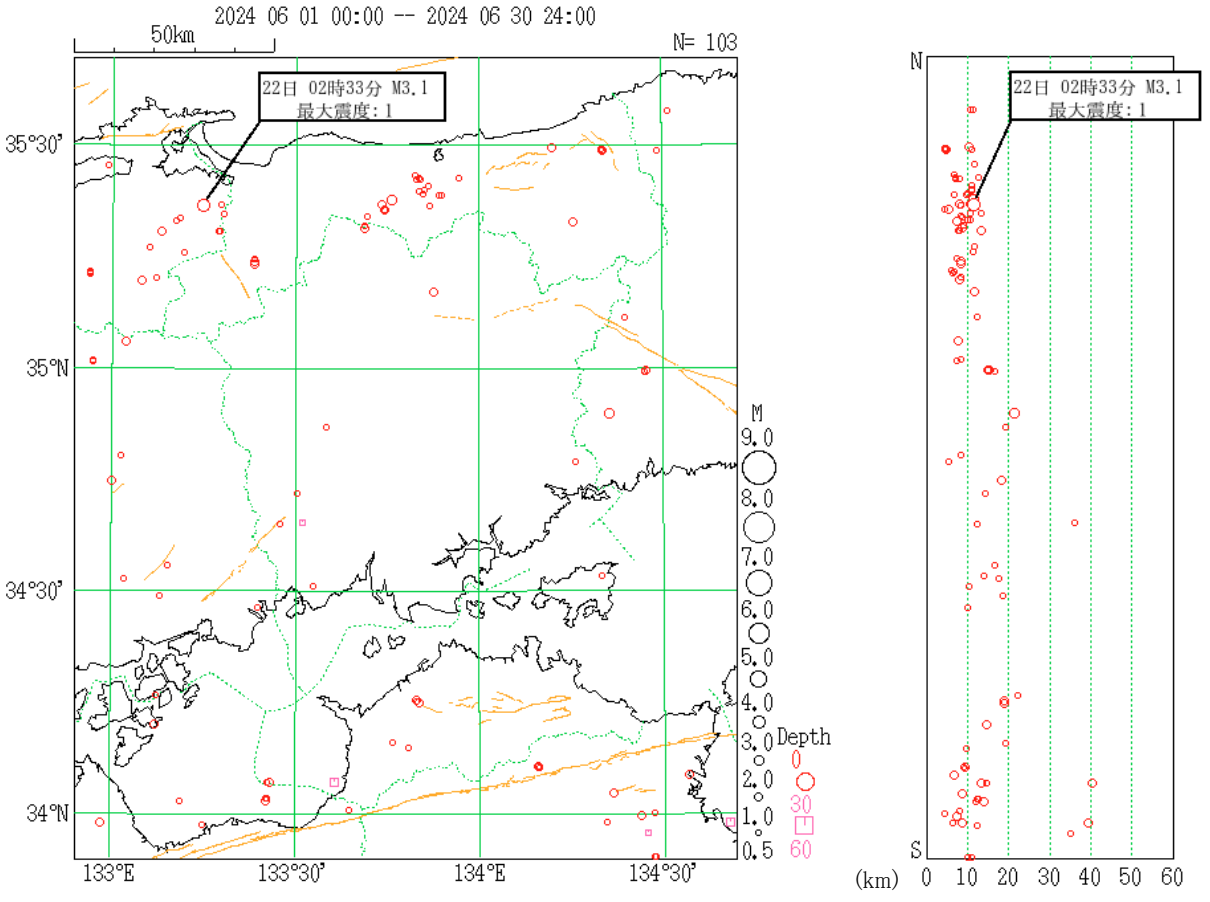
●この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

●本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(６月)

震央分布図及び断面図



左上　震央分布図（地図内の細線は活断層を表しています。）
右上　南北断面図
左下　東西断面図

図中の注釈（吹き出し）は、震度１以上を観測した地震について最大震度などを表しています。

概況

６月の概況
・６月に震度１以上の揺れが観測された、上図の範囲内の地震は１回（前月：３回）でした。
・岡山県で震度１以上の揺れが観測された地震は６月中は２回（前月：０回）あり、
　そのうち震央が上図の範囲内の地震は０回、範囲外の地震は２回でした。

岡山県において震度１以上を観測した地震の表（６月）

2024年06月01日04時02分　豊後水道　　33° 12.9' N　132° 21.3' E　39km　M4.5
---------- 地点震度 ----------
岡山県　震度 1：真庭市下方＊,真庭市禾津＊,倉敷市新田,倉敷市真備町＊,倉敷市児島小川町＊
倉敷市水島北幸町＊,倉敷市玉島阿賀崎＊,倉敷市船穂町＊,笠岡市笠岡＊
井原市井原町＊,里庄町里見＊,矢掛町矢掛＊,瀬戸内市長船町＊,浅口市金光町＊
岡山北区御津金川＊,岡山南区片岡＊

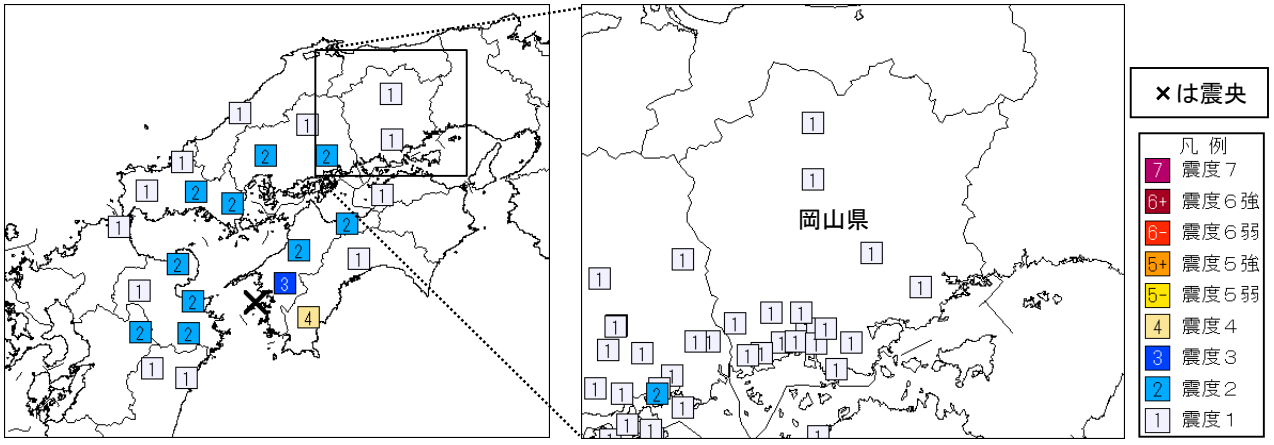
2024年06月21日14時03分　安芸灘　　33° 48.7' N　132° 39.8' E　44km　M3.9
---------- 地点震度 ----------
岡山県　震度 1：新見市哲西町矢田＊,真庭市下方＊,真庭市禾津＊,高梁市備中町＊,里庄町里見＊
矢掛町矢掛＊,瀬戸内市長船町＊,岡山北区御津金川＊

注）１　内容は暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。
なお、地震データの確定値は『気象庁地震・火山月報（カタログ編）』に掲載されます。
２　地名に＊印を付したものは、岡山県又は防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。
なお、震度は気象庁震度階級表によるものです。

岡山県において震度１以上を観測した地震の震度分布図（６月）

2024年６月１日04時02分　豊後水道の地震

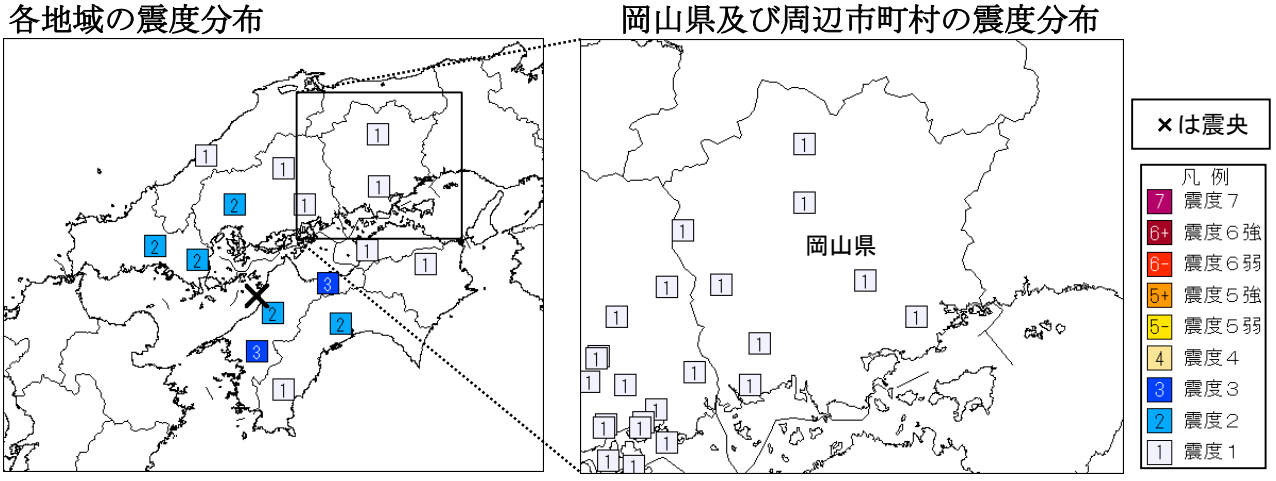
各地域の震度分布　　岡山県及び周辺市町村の震度分布



＜地震の概要＞
　１日04時02分 豊後水道の地震（深さ39km、M4.5）により、高知県宿毛市で震度４を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度３～１を観測しました。岡山県では笠岡市、真庭市、倉敷市などで震度１を観測しました。

2024年６月21日14時03分　安芸灘の地震

各地域の震度分布　　岡山県及び周辺市町村の震度分布



＜地震の概要＞
　21日14時03分 安芸灘の地震（深さ44km、M3.9）により、愛媛県西条市・大洲市で震度３を観測したほか、中国・四国地方で震度２～１を観測しました。岡山県では新見市、真庭市、高梁市などで震度１を観測しました。

地震防災メモ　No.222

津波が来るぞ すぐ避難！ ー「津波フラッグ」は避難の合図ー

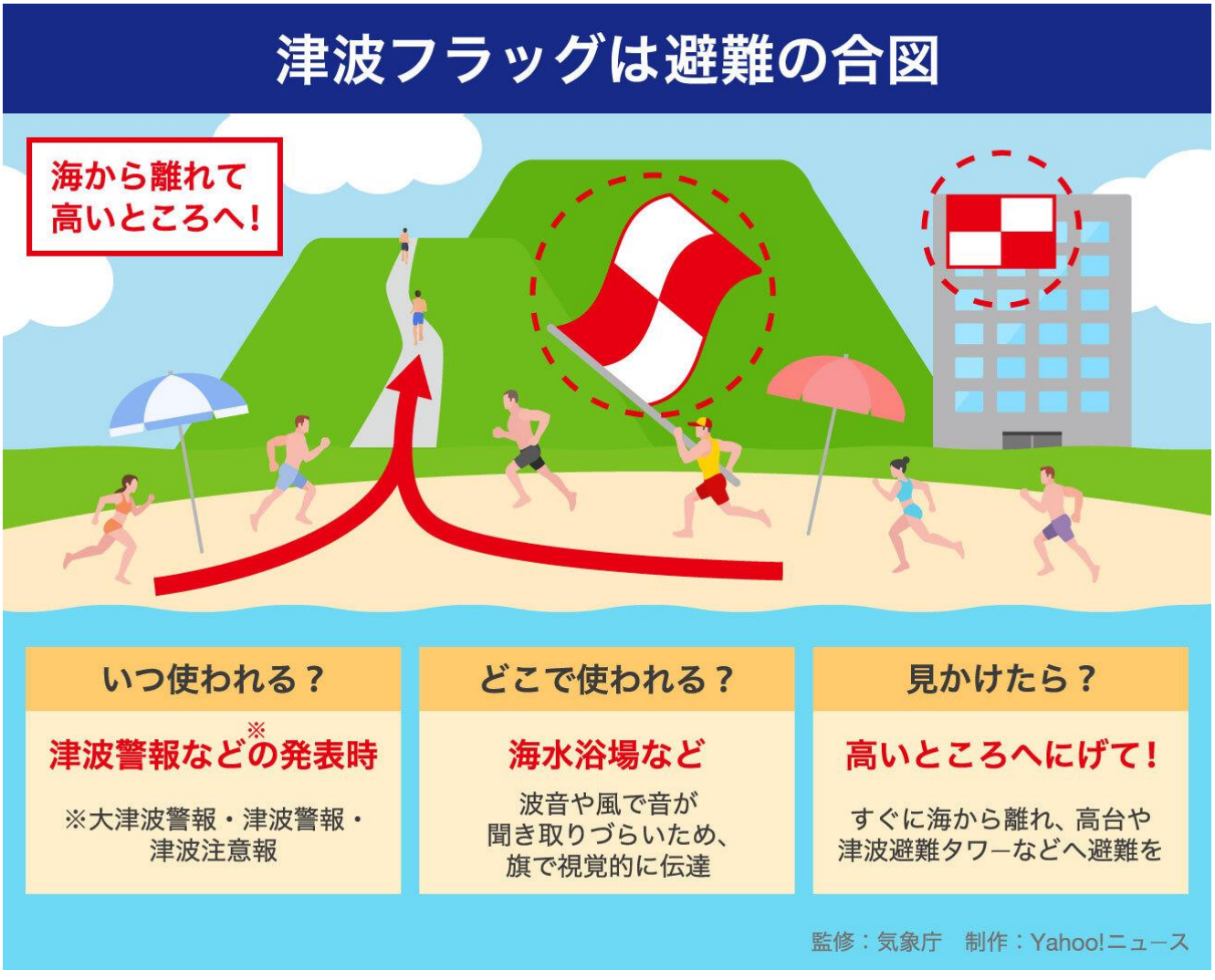
「津波フラッグ」は、海水浴場等で大津波警報、津波警報、津波注意報（以下、「津波警報等」という。）が発表されたことを旗を振ってお知らせする取組です。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年夏から海水浴場等で赤と白の格子模様の旗「津波フラッグ」による視覚的伝達の取組が始まっています。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。

海水浴場や海岸付近で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難を開始してください。

※右の写真のように旗を振るのではなく、旗を建物に掲げるなど他の手法でお知らせすることがあります。

「津波フラッグ」を振るイメージ



津波フラッグ